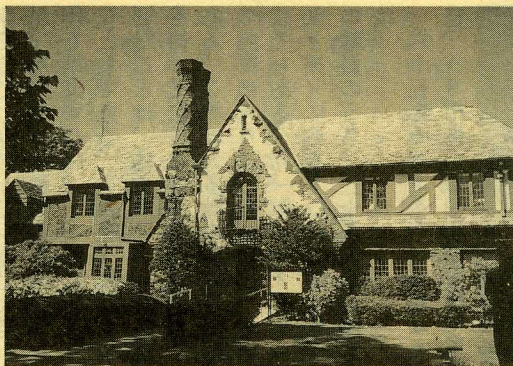


WSF新事務局訪問記

山崎 恵司(共同通信記者)

WSFジャパンは米国のWSFをお手本として設立されました。日米の文化の違いがあるとはいえず、ご本家の充実ぶりは目を見張るものがありました。

人と車でごったがえすニューヨークのマンハッタンから東に電車で三十分あまり。ニューヨーク州ナッソー郡イーストメドローは、広大な芝生の上にテニスコートやゴルフ場などが点在するレクリエーション地帯だ。その一角にWSF(米国女性スポーツ財団)の新しい事務局はあった。



▲WSFの新しい事務局「ランニン・ハウス」

新しいといっても、建物自体は一九三〇年に建てられたもの。その周辺を開発した人物が、娘のために造った二階建ての英国風の屋敷。ことし三月十

五日、WSFはマンハッタンからこへ事務局を移転した。

女性スポーツの

底辺拡大のために

鹿屋体育大講師の小笠原悦子さんとWSFの新しい事務局を訪問したのは五月二十七日。小笠原さんは、この機関紙(21〜23号)で米国の女性スポーツの現状を紹介したこともある米国人通。世界のトップレベルにあるテキサス大水泳チームでアシスタントコーチを務めた経験を持つ。小笠原さんがテキサス大にいた頃、同大の女性スポーツ局長だったのが、WSFの現専務理事であるドナ・ロピアノさんだ。

駅に着くと、ロピアノさんのアシスタントをしているアンジェラ・エバンスさんが真っ赤なスポーツカーで迎えにきてくれた。約五分間のドライブ。広々としたスポーツ施設のなかを走っていると、目指す建物「ランニン・ハウス」が見えてきた。

さっそく、二階の専務理事室へ。ロピアノさんが電話で仕事をこなしているところだった。小笠原さんによると、ロピアノさんはテキサス大、女性スポー

ツ局長としての十七年間に六つの異なるスポーツで十八の全米タイトルを獲得し、十四人の五輪代表を送り出したとのことだ。また、同大の女性スポーツの予算を約六十倍に引き上げた実績の持ち主でもある。昨年四月、WSFの専務理事に就任。その手腕をより大きな目的のためにふるうことになった。

▲専務理事のドナ・ロピアノさんと小笠原さん



てきぱきと仕事を処理していくロピアノさんの傍らには、使い込まれたソフボールとグローブが。子供の頃は米大リーグ・ヤンキースの選手にあこがれ、学生時代はソフボールの全米代表にも選ばれたこともあるスポーツウーマン。やはり、愛着はまだ強い。

ロピアノさんが力を入れるのは、女性スポーツの底辺拡大。ことし一月、WSFの会長に就任したナンシー・ホ

グスヘッドさん(一九八四年ロス五輪水泳で三個の金メダルを獲得)次ページ)も同じように底辺拡大を重要課題の一つに掲げている。また、女性スポーツ発展を目的にした国際的なネットワーク作りにも、ロピアノさんは関心を持っているようで、小笠原さんに期待の言葉をかけていた。

事務局の誘致に

十都市が名乗りを

ロピアノさんとの会見が終わると、専務理事補佐のキャサリン・ライスさんが、事務局のなかを案内してくれた。フルタイムのスタッフは十人。いずれもスポーツを愛する人たちばかりだ。そのほか、大学院で修士、博士課程に在籍している女子学生が教育実習の環境で常時二〜八人、働いている。一階奥の作業室では、そうした学生たちがニューズレターなど出版物の編集に取り組んでいた。また、電話相談や問い合わせに答えるのも、彼女たちの仕事だそう。

図書室には、女性スポーツに関係した書物をはじめ、医学、心理学関係の本、雑誌やスポーツ専門誌、新聞の切

り抜き、ビデオなどを所蔵している。ランニン・ハウスの裏に空地があるが、ここには女性スポーツの殿堂が建てられる予定。来年着工し、一九九五年にオープンすることになっているという。建物の広々としたスペースもうらやましかったが、新事務局選定の経過をライスさんから聞いて、ため息が出た。候補地は当初十カ所。そのなかから、首都ワシントン、テキサス州ダラス、コロラド州コロラドスプリングスなど五つの都市に絞り込み、選定委員会がここに決めたのだが、各都市とも誘致のために好条件を提示してきた。



▲Nancy Hogshead

△メモ▽新しい事務所に移転したWSF。会長もリン・セント・ジェームスに変わり、ナンシー・ホグシェッドを新たに迎えました。

ナンシー・ホグシェッドは、一九八四年のロサンゼルス・オリンピックの競泳で、三つの金メダルと一つの銀メダルの獲得者。彼女がWSFと初めて出会ったのは、やはり競泳のオリンピック・メダリストで、WSFの評議員を務めるドナ・デ・パロ



▲左が山崎さん

という。ナッツォー郡の条件は二十年間家賃無料、殿堂の設計、建設も郡が負担するというものだ。米国社会でのWSFの地位の高さをうかがわせる話だった。

ナ(WSF初代会長)のスピーチを聞いたことからでした。『タイトル9』(学校教育における男女平等修正案)の実施に努力していたWSFを知り、自らも奨学金を受けて大学を卒業したホグシェッドは、WSFと共に活動する重要性を感じました。草の根レベルでのスポーツ参加や、行政への働きかけなども積極的に行いたいと抱負を語るホグシェッド。今後の活躍が期待されます。

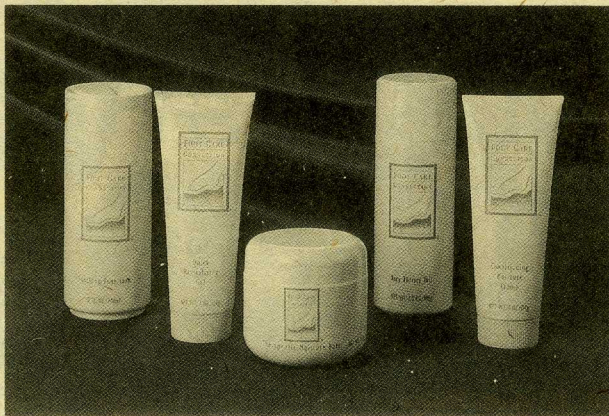
なお、WSFの新住所と電話番号は次の通りです。

The Women's Sports Foundation
Eisenhower Park, East Meadow,
New York 11554, USA

Phone : 516-542-4700

いま話題の本格的フットケア化粧品

フットケアコネクション



現代人の足は、疲れやストレスの他、さまざまな病的なヒズミが溜まっています。足は体重の全てを支え、常に歩行のメカニズムを支えているのです。足をいたわり、優しくお手入れすることが、いま求められています。この評判の「フットケアコネクション」は、世界的な足病学の権威、アメリカのチャールズ・ディピラ博士が研究開発した全く新しい独自の化粧品です。

《フットケアコネクションシリーズ》

- ITスージングソーク ￥4,600(240ml)
- ITリバイタルジェル ￥4,600(114g)
- ITモイスチャーバーム ￥4,800(114g)
- ITサースティパウダー ￥4,600(100g)
- ITモイスチャークリーム ￥4,600(114g)

※表記の価格には消費税は含まれておりません。

滝川株式会社

■本社 / 〒111 東京都台東区元浅草3-2-1 ☎03(3845)2111(大代表)

お問い合わせは■滝川(株)エステティック事業部 / 03(5821)0222までお気軽にどうぞ。